



スペイン階段を上がりきった所に建つ「Hassler Roma」の正面エントランス。前方に教皇ピウス6世が移築したオベリスクがそびえる

ハスラー ローマ Hassler Roma

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



ホテル前は賑やかな広場になっており、スペイン階段から観光客が流れて来る。まさにホテル自体が観光名所だ



弧を描いた重厚なレセプションカウンター。創業者の肖像画が正面に掲げられている



スペイン階段の上にもそびえる双頭の「トリニタ・デイ・モンティ教会」と並んで建つハスラー ローマの雄姿。写真や映画にこれほど数多く収められたホテルは他にないであろう



ローマの美しい景色を堪能できる、ミシュラン1ツ星のメインダイニング「Imago」



「Imago」からの眺め。眼下にスペイン階段やオベリスクの尖塔が手に取るようだ



「Salone Eva Restaurant & Bar」のゴージャスなウェイティングコーナー



各階の階段ホールにはさり気なく年代物の家具や絵画を配置している



静かなコートヤードに面した客室「Deluxe Room」のベッドルーム。この部屋は約40㎡の広さで洗い木目とミラー使いが特徴だが、客室ごとに部屋の意匠はすべて異なる



「Hassler Villa Medici」の文字が残る玄関正面



筆者 小原康裕

ホテルジャーナリスト。慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年Munich Re入社。85年築地原健株代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。※現在、著者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。www.jhrca.com/worldhotel



「Amorvero Spa」の付属テラスから望むローマ市内の圧倒的景観。並んで建つトリニタ・デイ・モンティ教会やオベリスクの尖塔がホテルと一体感となった空間だ



体に合わせた曲線の大型バスタブとビルトインTVを備えたモダンなバスルーム
部屋からは美しい「Palm Court」とボルゲーゼ公園南端の緑が眺められる

“スペイン階段の上にもそびえるHassler Romaはそれ自身が観光名所”とホテル案内書に謳われているように、ローマ随一の立地と格式を誇る老舗名門ホテルである。建物自体は特別に美しいという訳ではないが、写真や映画にこれほど数多く収められたホテルは他にないであろう。ホテルはかの有名なスペイン階段を上がりきった所に建つ“聖三位一体教会”「Chiesa della Trinita dei Monti」の右隣に建っている。無意識のうちにこのホテルのイメージは、観光客が撮る多くの写真や映画に“永遠の都ローマ”のロマンチックな一片として収められるという訳だ。

ハスラーの歴史は19世紀半ば、スイスのグラウビュンデン州からイタリアに渡ったアルベルト・ハスラーに始まる。イタリアで多くのレストランを開業させ成功を収めたハスラーは、ついに1893年ローマで念願のホテル・ハスラーをオープンさせた。しかし1921年よりスイスのホテル王プッヒャー・ヴィルスが経営に参加するようになり、やがてホテルの所有権はヴィルス家に移って行った。1939年にホテルは改築されるが戦時中のため、アメリカ軍参謀本部がここに置かれ、ホテルとしての機能は停止させられる。戦後、1947年になってようやくホテルは経営を再開。以後、ヴィルス一族の結束も相まって、ハスラーは国際的に高い評価を得るようになり、世界中から元首、王族、芸術家や俳優など多く著名人を顧客に持ち、その名声は今日も不動のものとしている。

ハスラーは82の客室と14のスイートを有する小規模なホテルであるが、客室の意匠はすべて異なり重厚な家具や調度品など威厳に満ちた内装となっている。レストランはぜひ、ミシュラン1ツ星の「Imago」を薦めたい。ホテル上層6階にあるガラス張りのメインダイニングで、ここから眼下に観光客でにぎわうスペイン階段や遠くパチカンのサン・ピエトロ大聖堂も見渡せる。また、エントランスホール右手にあるダイニング&カクテルバーの「Salone Eva」ではゴージャスな雰囲気ですごす。そのほか、ホテル裏手の公園に囲まれたオープンエアのテラス・レストラン「Palm Court」も独特の雰囲気だ。3階にはスパ「Amorvero Spa」があり、トリートメントやトレーニング・ジムなどがあるが、圧巻なのはスパ施設から外に出られる特別テラスだ。目の前に聖三位一体教会の側面と教皇ピウス6世が移築したオベリスクが完全な形で俯瞰できる特別席である。勿論、眼下にはスペイン階段のざわめきやコンドッティ通りの雑踏の様子も手に取るように確認できる。

ハスラーは現在もヴィルス一族のロベルト・E・ヴィルスによって所有・経営されている。ロベルトは生まれつきの聾啞であったが、一族の進取の気性を受け継ぎ完璧なホテルマネージャーとなり、“2005年度世界最高の個人ホテル経営者”「Independent Hotelier of the World 2005」を受賞している。また、国際ワインアカデミーを開設し、聾啞と盲目の子供たちのための非営利財団も設立するなど、いまま第一線で活躍している。